

フジワン粒剤

作物名	適用病害虫名 又は 使用目的	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	イソプロチオラン を含む農薬の 総使用回数	
稲	いもち病	3～5kg/10a	葉いもちに対しては 初発7～10日前 穂いもちに対しては 出穂10～30日前 但し、収穫30日前まで	2回以内	湛水散布	3回以内 (移植前は 1回以内、 本田では 2回以内)	
		育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50～75g	苗の緑化期から 移植直前まで	1回	本剤の所定量を 育苗箱中の苗の 上から均一に 散粒する。		
	小粒菌核病	4～5kg/10a	出穂10～30日前まで 但し、収穫30日前まで	2回以内	湛水散布		
	稲こじ病	3～4kg/10a					
	トビイロウンカ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り75gと 本田4～5kg/10a の体系処理	育苗箱：苗の緑化期から 移植直前まで 本田：第2世代老令幼虫 ～ 第3世代若令幼虫期 但し、収穫30日前まで	育苗箱： 1回 本田： 2回以内	育苗箱：本剤の 所定量を育苗箱中 の苗の上から均一 に散粒する。 本田：湛水散布		
		本田1回目3～5kg /10aと本田2回目4 ～5kg/10aと体系 処理	1回目：第2回成虫飛来期 2回目：第2世代老令幼虫 ～第3世代若令幼虫期 但し、収穫30日前まで	育苗箱： 1回 本田： 2回			
	登熟歩合向上	3～4kg/10a	出穂10～20日前 但し、収穫30日前まで	1回	湛水散布		
	高温登熟下 における白未熟粒 の発生軽減	4kg/10a					
	ムレ苗防止	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り15g	は種前	1回	本剤の所定量を 所要量の育苗箱 用の床土に均一 に混和する		
		根の伸長および 発根促進	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り25～50g				苗の緑化始期
うめ	白紋羽病	3～5kg/樹	収穫前60日まで	1回	土壌混和	1回	
ぶどう		3kg/樹	萌芽期まで				
なし りんご		3～5kg/樹	落花直後まで	2回以内		2回以内	
びわ		3kg/樹	開花前	1回			1回
もも			発芽前				
おうとう	200g/樹	野ソの食害 忌避	根雪前	2回以内	本剤の所定量を 樹冠下半径約50cm の範囲の土壌と均一 に混和する。	2回以内	
りんご	100～200g/樹						
	高密度植わい化栽培 で 使用する場合は 100～200g/m ²						本剤の所定量を 樹冠下半径約1m の範囲の土壌と均一 に混和する。